内陸アジア

オアシス @ 中央アジア

- 隊商路の安全 穀物・織物 ⟷ 畜産物
  - 緊張をはらみつつも互恵的な関係
- 古くから定住
- 雪解け水による河川・地下水
- 独立した経済圏
  - 都市部 — 防衛施設
  - 農村部
- 隊商交易・手工業生産の拠点
- オアシスの道
  - シルクロード流域
  - アムリ下流域 — ホラズム
  - パミール高原西部 — ソグディアナ — ブハラ・サマルカンド
  - パミール高原東部 — タリム盆地周縁 — 敦煌・クチャ・ホータン・カシュガル

大規模国家の支配下

- 前3世紀 — 前2世紀
- 前7c — 前6c 秦 — 漢の西域経営
- 前6世紀 — アケメネス朝
- 前4世紀 — アレクサンドロス大王
- 遊牧国家 vs 中国王朝

草原

- 遊牧と狩猎
  - 乾燥 — 農耕困難
  - 季節的に移動 — 草と水を求めて
- 遊牧民
  - 食料 — 乳製品
  - 肉
  - 家畜 — 羊・牛・馬
  - 衣服 — 毛皮
  - 住居 — 組み立て式 — 解体・移動
- 民族・部族集団単位 — 必要に応じて連合 — 遊牧国家 — 混合的構成 — 他部族・オアシス民・農耕民
  - 血縁的まとまり
- 遊牧国家
  - 草原の道 — ユーラシアの東西を結ぶ交易 — 文化と交流
  - 実力主義
  - 指導者の下、広域
  - but 指導者死亡 or 必要なくなる
  - すぐ分裂
  - 急速に拡大・縮小・移動

前9c〜前8c

騎馬遊牧民
青銅製の馬具や武器
軍事面で圧倒的に優位

前7c

スキタイ @ 南ロシア草原地帯 / 歴史上最古の騎馬遊牧民
特有の動物文様をもつ馬具、武器

前4c

内陸アジア東部で騎馬遊牧民の活動活発に
- 匈奴 @ 陰山山脈 …単于のもとで強大な国家形成
- 烏孫 @ 天山山脈
- 月氏 @ 甘粛・タリム盆地 イラン系 → 前2c前半に匈奴、烏孫に破れて ソグディアナ〜バクトリアへ ⇒ 大月氏となる

前3c末

冒頓単于 即位
- 西…月氏を攻撃 中央アジアのオアシス地帯を傘下に
  - ↳ 中継交易で利益を上げていた。
- 東…成立間もない漢を圧迫
  - 高祖…匈奴に敗れて和親策
  - 武帝…匈奴を北に追い西に進出

前1c中頃

匈奴、東西に分裂
前漢の進出で内陸交易の利を失い、衰える

1c

匈奴、再度南北に分裂
- 南匈奴 → 中国内地に移住
- 烏桓（匈奴の一種族）、鮮卑（東北）、氐・羌（西方）→ 中国に侵入

4c

中国内地の政治的混乱に乗じて華北進出 → その後、遊牧民の立てた国が興る。
⇒ 遊牧社会の要素を取り入れた新しい文化

漢人が華北から江南へ → 開発進む
⇒ のちの隋・唐帝国の統一の基礎

鮮卑など五胡の華北侵入
フン人の西進
→ 農耕地帯に大きな衝撃
ユーラシア全域に変動

モンゴル草原に柔然、突厥、ウイグルなど出現